

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 木 2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション III English Communication III		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 2Fa	科目分類 外国語科目(英語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 上村俊彦 /Eメールアドレス: yandi@sun.ac.jp /研究室:非常勤講師控室(シーボルト大学 W504) /オフィスアワー:10:20-10:30			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: オーセンティックな英語(英語母語話者による英文テキスト、ナチュラルスピードで録音された音声教材)を用いて、外国語学習の4技能(読み、聞き、書き、話す)の習熟のためのトレーニングを行う。</p> <p>授業方法: 英文テキスト概要の把握や内容理解をするための Scanning や Skimming、英語による発信語彙の習得のための vocabulary building、英文テキストの listening、テキスト内容についての英語による Question and Answer などを中心に授業を進める。</p> <p>授業到達目標: 大学生、社会人として必要とされる英語の基礎力を習得する。センテンス・ベースの訳読重視を改め、パラグラフの構造、テキストの情報構造(旧情報と新情報)などに習熟し、テキスト全体の要旨を理解する英語の理解力を習得する。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>英語の発信技能を伸ばすために、英語の音声教材をふんだんに取り込んだ教材を学習する。</p> <p>テキスト付属の学生用 CD、授業用 CD の学習内容を中心としたディクテーションやライティングの演習をおこなう。必要に応じて、プリント教材(映画批評や新刊書レビューなどの英文)を教材として学習する。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 Unit 1 Communication 第3回 Unit 2 Work and money 第4回 Unit 3 Technology 第5回 Unit 4 House and home 第6回 Unit 5 Crime and law 第7回 Unit 6 Mass media 第8回 中間試験(回数は、進度により変更の場合あり) 第9回 Unit 7 Trends 第10回 Unit 8 Big moments 第11回 Unit 9 Men and women 第12回 Unit 10 Stages of life 第13回 Unit 11 プリント教材(1) 第14回 Unit 12 プリント教材(2) 第15回 定期試験</p>			
キーワード	多読 リスニング		
教科書・教材・参考書	Tennant, A. et al. 2006 <i>Synergy 4</i> Macmillan  (その他、必要に応じて教材プリントを配布予定)		
成績評価の方法・基準等	中間試験 40% 期末試験 40% 課題レポート 10% リスニング試験 10% (所定の出席回数を上回った学生のみを評価の対象とする)		
受講要件(履修条件)	テキスト音声教材を録音した CD を配布予定(媒体実費程度の負担が必要)		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	英語辞書(電子辞書も可)を、毎回持参すること。		